



ピースライブ2015 in ひらかた ~笑顔いっぱい、平和だから~

8月3日 枚方合同地域活動委員会(枚方市) ラポールひらかた 参加160名(うち子ども12名)

昨年の募金は、小学校にノートとペンを、避難民キャンプに子ども用サンダルを贈る一部にあてられたとお礼がありました。今年も「イラクの子どもを救う会」へ募金86,200円をお渡ししました。

鶴笑さんの人形を使った「パペット落語」や、はさみを器用に操って作る「切り絵」「南京玉すだれ」などの動きのある落語では、子どもたちも身を乗りだし手をたたいて、会場は笑いに包まれました。紛争地の子どもたちに笑いを届けるために西谷さんと共に活動されてきた体験を通じて、平和の大切さをさらに感じたそうです。

参加者は、平和の大切さを考えるよい機会になりました。

和さん(イラクの子どもを救済する会代表)と、落語家の笑福亭鶴笑さん(チームお笑い国際便メンバー)を講師に迎え、講演いただきました。

西谷さんからは銃声の鳴り響くシリアの紛争地へ出向いた際の現状について映像を交えながらのお話がありました。家を失った避難民キャンプでは一つのテントに17人も人がひしめきあひながら、水などの援助も受けられず生活している。病院では生まれたばかりの新生児が1台の保育器に3人も入れられているなど、悲惨で厳しい現状を知りました。なぜ戦争が起きてしまうのかを考えさせられました。



西谷文和さん
今年も平和を願うイベント「ピースinライブ」が開催されました。フリージャーナリストの西谷文和さん(イラクの子どもを救済する会代表)と、落語家の笑福亭鶴笑さん(チームお笑い国際便メンバー)を講師に迎え、講演いただきました。



パペット落語を熱演する笑福亭鶴笑さん



「NPT再検討会議」に参加された原田待子さんから現地報告もありました



くらし
平和 環境 食

組合員活動のコーナー



大阪ガス ハグミュージアムで商品フェア

6月26日 西地域活動委員会(大阪市) 参加109名(うち子ども8名)

この会場は、大阪ガスの施設で、キッチン設備も充実。キッチンスタジオと呼ばれる大きなフロアを4つに分けて順番に見てまわりました。

委員会おすすめブース
若いお母様にもお子さんのお弁当に利用しやすい商品を紹介!

「王将チャーハン」や「三色プチ大福」「お弁当もずく」「中華くらげ」など9品用意しました

夕食サポートブース
高齢者の方だけでなく、キッチンリフォーム時にも便利です!

富山コシヒカリもピカピカに炊き上がりました!

ご飯・野菜のグリル・バナナパンケーキ

大阪ガスさんのブース

大阪王将の餃子実演ブース
きれいに羽根付き餃子を焼いてくださいました

イトアンド(大阪王将)の石川さん

たのしいね!

当日は雨の中、今年始めに開館した大阪ドーム前の「ハグミュージアム」で学習会と試食会のフェアを開催されました。

参加者はまず3班に分かれて、大阪ガスのスタッフさんの案内でミュージアムの各フロアの見学ツアーを行いその間に委員会の皆さんは試食の準備。試食会場では委員長さんが当日の割り振りをマイクで説明され、若い委員さんが試食準備をテキパキとされていきました。

委員会で学習された商品や、委員さんおすすめの商品を試していただき、利用につなげたらと、商品特徴やお気に入りポイントを手書きポスターでアピール! その他医療生協ながほり通り診療所の骨密度測定や、くらしのたすけあいの会の紹介など待ち時間に参加者さんが飽きない工夫をされていました。

見学のほとんどは大人の方でしたが、お子様連れの方も座って実演や試食をしていただく和やかな試食会でした。

津波について知ろう ~津波・高潮ステーション見学~

7月2日 西成地域活動委員会(大阪市) 参加3名

海より下に住んで「自覚」あんまり無かった...

床面を海面に見立てた展示。大阪府は地面の高さが満潮時の海面より低い土地(海抜0メートル)の地域が約40万平方メートルあり、そこに約108万人が住んでいる



防潮の鉄扉の開け閉めを体験

「近々おこるかもしれない『南海トラフ地震』に対して、備えとしての知識を学ぶために、大阪市西区にある津波・高潮ステーションを見学。館内はテーマごとに分かれています。わかりやすくなっています。

大阪の町が海より低いことがリアルに再現されているのを見たり、高波災害被害の歴史を学ぶコーナーも。高潮防災施設のはたらきと鉄扉の実物を見て、子どもや女性でも簡単に操作できる事を体験しました。



ガイドさんが丁寧に説明

南海トラフ巨大地震で津波による死者の予想は13万4千人とされていますが、迅速に避難することができれば8千8百人に減らすことができるんです

津波災害体感シアターでは、前面・左右側面・床面の4面にひとつながりの映像が映しだされ、包み込まれるような迫力の中で津波の恐ろしさを体感してきました。

最後に、東日本大震災に関する展示や津波や高潮が来た時に自分の住む町がどうなるのか(浸水状況や避難場所を地図で見る事ができました。参加後の感想では、「夏休みには家族と一緒に来るといいね」「さっそく家族で防災会議をします」の声がありました。



私の地域は1メートル~2メートルの浸水予想やって! 気をつけな!

若草食品工場見学 ~こんにやく作りも体験!~

7月31日 泉・住道合同パル委員会(大東市) 参加19名(うち子ども9名)

国産生芋だけでつくった糸こんにやく カットタイプ 次回企画: 9月2回



国産生芋だけでつくった板こんにやく 次回企画: 9月2回

9月3回からリニューアルします!



いただきます~

泉・住道合同パル委員会の、なりたてホヤホヤの若草食品の工場見学に同行させていただきました。夏休み中の子どもたちと一緒に、日頃食べている生協商品の製造工程の説明を聞き、こんにやく作りを体験しました。

こんにやく作りでは、水で30分煮た原料の蒟蒻芋の匂いがかいでみました。蒟蒻芋の時点では、こんにやくの匂いとは全然違うことを実感。子どもたちが、手袋をして楽しそうにこんにやくを丸めている傍らで、お母さん方は、こんにやくの色や固さには地域性があることや、使い切れなかったこんにやくの保存方法、あく抜きするかどうかなど質問。「袋に入っている液ごと保存するのがいいのですが、液を捨ててしまってもラップでピッチリ包んでおけば大丈夫ですよ。あく抜きは、しなくても食べられますが炊きもの

最後は、日頃から疑問に思っていた「ねじり糸こんにやく」の作り方や、さしみこんにやくの話など聞いて学習会を終りました。

お昼には、できたての手作りこんにやくにお味噌をつけて試食。普通の板こんにやくとは違ったザクザクした食感でしたが、「温かくておいしい! このお味噌もおいしいので今度買ってみようかな」。食感の違いは、空気を含んでるかわいさの違いです。

味がいよいよおいしいのでおいしく食べられるのでおすすめです」と担当の土本さん。

ボクが丸めたん こんにゃくなったあ!



こんにやく作りでは大人も子どもも興味津々! ぐるぐる混ぜたら、さあどうなる...?